

曙

あけぼの



第4回合同事例研究発表会 ～より良い福祉をめざして～



合同事例研究発表会を開催して

令和4年6月22日に第4回法人内合同事例研究発表会を開催しました。本来は令和3年度に開催する予定でしたが、コロナ感染症予防対策のため日程が延期となり6月の開催となりました。

事例研究発表会は、職員が皆様との日々の関わりから生まれる様々な事象や経験、また課題解決への経緯をまとめ検証して成果につなげた事例を発表する場です。入居者様・利用者様に安心して生活していただくための取り組みや口腔衛生、地域支援など幅広く様々な興味ある視点からの内容です。職員から「改めて仕事に対する考え方を見直す良いきっかけとなりました」との声が聞かれました。

法人職員が情報を共有し、サービスの質の向上につなげていく事ができるようにこれからも開催してまいります。

法人本部 研修係長 青木 敏子

居宅から施設入所まで支援したケース

今回の事例は、直接遠州の園にご家族から電話があり支援が始まりました。このようなケースは良くあり、ご本人もご家族も相当困った状態でしたらしくやると思っています。まずは先方が安心できるような受け止めを心掛け、親身になってお話を伺いするように努めています。

今回のご利用者には、まずはデイサービスを利用しながら在宅生活を送るような生活の支援を行いました。徐々に介護負担が増加し、在宅での生活が困難となり、その後、特別養護老人ホーム遠州の園に入所しました。その方とお会いする機会が少なくなり寂しい気持ちはありませんが、ご家族の在宅介護の大変さを知った時、入所という選択肢もあるのだと思いました。

この事例を通して改めて、出会いを大切に、悩まれているご利用者とそのご家族に寄り添い、その人らしく幸せに暮らすための支援を一緒に考えていく必要があると感じました。

こちらで働き始めて、5年目となります。今回の事例発表は、今までの自身を振り返る良い機会になりました。

遠州の園居宅介護支援事業所ケアマネジャー 八木澤ゆり枝



社会福祉法人 遠江厚生園

遠州の園／第二遠州の園／楽寿荘

減災に向けて～合同防災訓練～



法人で3回目となる合同の防災訓練を9月1日に各施設にて机上訓練という形で行いました。震度6弱の地震が静岡県を中心とした東海地区に発生したという条件のもと初期対応について協議しました。協議内容を共有し、相互協力体制を整備し、災害時に適切な対応を取ることができるようにしてまいります。(防災対策委員)

遠州の園

施設では建物の耐久性や通信システム障害による孤立化、特養では入居者の安否確認はもとより、人員確保に関する懸念等の意見が聞かれました。また、デイサービスではちょうど送迎の時間帯ということもあり、「無事に送り届けることができるかどうかを考えただけで不安になった…」といった声が上がりました。

先ずは問題点を洗い出し対策を考える事、それを、定期的に積み重ねて行っていくことが大切と考えます。

遠州の園 防災対策委員長 袴田

第二遠州の園

今回の状況は、6メートルの津波を想定しての訓練になりました。園の南側は遠州灘に面しており、すぐ裏には旧仿僧川が流れています。津波がどういう動きをするか想像が付きませんが、この施設においての地震対応は、津波の発生があるかないかで大きく異なります。

屋上に避難した後の長時間待機にはそれなりの装備、備品、生活用品等が必要となりますので、対応できる準備をしていきたいと思えます。

第二遠州の園 施設長 伊藤

法人本部

本部は、来園者と打合せ中に地震発生という状況設定を受け協議しました。

ケガの確認と処置を優先した対応を確認後、災害対策本部としての課題を協議し、重要となる情報収集と施設への発信方法を話し合いました。訓練を通じ、初期段階での対応の優先順位の重要性を強く感じました。

法人本部長 水野

楽寿荘

初めての机上訓練は、支援員、栄養士、看護師がメンバーになり、発災時の初期対応について、職種ごとの視点から課題・問題点が出されました。課題に対する意見交換により、改善点が取りまとめられ、具体的な行動として示されました。

また、職員は大半が女性で、それぞれ家庭の主たる役割を持っている現状において、施設運営を継続させることの難しさをあらためて感じた訓練でした。

楽寿荘 施設長 熊切

城山・向陽地域 包括支援センター

初めての机上訓練でしたが、地域の中で、いろいろな問題が起こりうることを、改めて突き付けられた感じでした。

自分たちの身の危険の回避や安全確認をしつつ、第二段階として地域の方々のごと、安全の確認の方法等も次の課題だと思えました。

訓練は現状を知るよい機会だと思えます。

城山・向陽地域包括支援センター センター長 大岡

祝

御長寿



遠州の園

松村つぎ 様 (満100歳)

大正10年11月15日生まれ

「好きな食べ物」 一番好きなものは肉。なんでも好きだよ
「元気の秘訣」

声を出してしゃべること。黙っていちゃダメ。あとは何でもいっぱい食べることだね。食べる事は大好き。食いしん坊だよ。



第二遠州の園

永井みね 様 (満102歳)

大正8年12月12日生まれ

「好きな食べ物」 甘いもの全般
「元気の秘訣」

親より長く生きたし、えばったもんだよ。若い時は散歩をよくしていたから、それが良かったかもね。内臓も丈夫だし、何でも美味しく食べれてるからそれが一番！今が一番幸せ！



楽寿荘

荻原いね 様 (満102歳)

大正9年3月15日生まれ

「好きな食べ物」 お肉も魚もなんでも好きだよ。

かりんとうが一番好き。飴も好きだよ。

「元気の秘訣」

草取りだよ。世話になってるから草取りくらいしんとね。長く生きて来たでいるんなことあったよ。もう年だよ。いつまでもくよくよかんがえんよ。ワハハ。



敬老会を遠州の園は9月17日、第二遠州の園は9月10日、楽寿荘は9月15日に開催しました。いつまでも元気で過ごしていただきますよう、ご長寿をお祝いいたしました。

*写真とコメントはご本人の確認を得て、掲載しております。

法人本部

居宅ケアマネジャー様必見！ デイサービス見学会を行いました

遠州の園は、8月1日～5日、第二遠州の園は、8月16日～22日の日程で開催しました。デイサービスの様子を直接ご覧になり、ご理解いただき新規ご利用様のご案内に役立てていただければと開催しました。また、担当されているご利用者の様子も見ていただくことができました。

感染症対策には十分に配慮しての見学会でしたが、提供されているお食事やおやつもお楽しみいただきました。



高校生職場説明会&見学会

7月21日から高校生対象に、遠州の園にて実施しました。暑い時季にもかかわらず多くの学生さんに参加していただきました。「法人理念」や「介護のお仕事について」の説明をして、法人3施設の様子を紹介し、先輩との座談会などを行いました。学生の中には、実際に体験学習で来園したことがある方もいらっしゃいました。令和5年度の新卒採用に繋がることを期待しています。



遠州の園



玉ねぎを使って ~こんなにたくさん採れました~



遠州の園の畑で育てた玉ねぎがたくさん収穫できたので、ユニットごとに、玉ねぎを使った料理を作りました。メニューは親子丼、カレーライス、ハヤシライス、ハンバーグ等々。

みなさん、玉ねぎの皮を剥くところから調理に参加され、女性たちはさすがの慣れた手つきで、玉ねぎを切ってくれました。そして、どれもおいしそうな料理が完成しました。

おかわりをされた方もいるほど、自分たちで作った料理は一段とおいしく、みなさん笑顔で、完食されました。

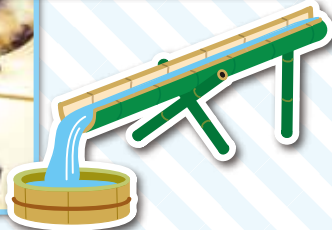
※感染症対策を万全にして楽しみました。



第二遠州の園

涼を味わう

~夏といたら流しそうめん♪~



第二遠州の園デイサービスでは、7月18日と19日の両日に「流しそうめん」を行いました。今回デイサービスでの流しそうめんは初めての試みで、竹の調達に始まり、水流の速さや角度など試行錯誤しながら調整しました。では準備万端! そうめんを勢いよく流し始めると、ご利用者が次々に箸ですくい取っていました。「冷たくて美味しい」「こんなの初めて、上手くすくえたよ」「早く取らないとそうめんが流れちゃう」など会話が弾みました。皆様にはひと時の涼しさを感じてもらえたと思います。これからも四季折々の行事を開催していきます。

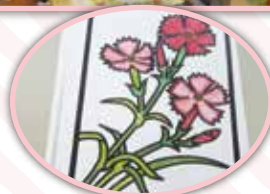
※感染症対策を万全にして楽しみました。

楽寿荘



ぬり絵クラブ ~色鮮やかな作品をご覧あれ~

今年度から月1回ぬり絵クラブを開始しています。コロナ禍の中、悶々とした日々が続いています。そのような中、ある入所者の人がぬり絵を始めました。他の人もやってみたくて人数が増えていきました。完成した作品を壁に貼ると施設内がパッと明るくなり「これを食堂に貼ったら食堂が明るくなるね」と食堂に掲示することになりました。クラブ活動として開始して4回目!! 月ごとに参加者が増えていきます。皆さん真剣に取り組み、回をかさねるごとに上達してきています。今後、どのような素敵な作品が出来るのかとても楽しみです。



皆様ありがとうございます

(令和4年6月～令和4年8月) 敬称略

寄付

〔遠州の園〕

イズモ葬祭(鉢植え)、関(イルミネーション)、小藪(プルタブ)、鈴木(ウエス)、青島(苗)、JA遠中サービス(消毒用品)
柴田(医療用品)、鈴木(排泄用品)、木根(医療用品)、玉澤(プルタブ)

〔第二遠州の園〕

匿名(洗剤)、匿名(排泄用品)

〔本部〕

浜松磐田信用金庫見付支店(寄付金)

体験実習

〔遠州の園〕

磐田北高2年(実習)、磐田北高3年(実習)、磐田西高3年(ボランティア)、城山中3年(ボランティア)
聖隷クリストファー大学(実習)、向陽中教員(福祉体験)

*新型コロナウイルス感染予防対策のため慰問を休止させていただきました。

友の会よりいただきました!

今年も「(福)遠江厚生園・友の会」から各法人施設への寄贈がありました。遠州の園は、車椅子、歩行器や足裏マッサージ機など、第二遠州の園は、センサーマットや介護・感染対応備品など、楽寿荘は、ミニ耕運機や草刈機を寄贈していただきました。友の会に賛同・協力していただいた皆様のご厚意に感謝し、大切に使用させていただきます。



ホームページをご覧ください!

動画をアップしました

法人施設のイメージがより感じられるように、既存のホームページに動画を取り入れることになりました。ドローンを飛ばし、上空からの施設風景の撮影を行いました。また、各施設の職員による“笑顔のリレー”で繋ぐインタビューなどをアップしています。10月から公開しておりますので、是非ご覧ください!!



HP <http://www.tohtoumi-kouseien.or.jp>

Zoom会議を開催しています

パソコンを使ったzoom会議を行っています。職員同士が一堂に会することなくモニターを通して顔を見合わせて会議を行う事ができます。感染症対策をふまえた有効な手段です。

これからもいろいろな方法を活用することで安全に運営してまいります。



出前講座再開!!

5月16日より感染対策を講じながら出前講座を再開しました。転倒予防のための家庭でできる体操や頭脳を刺激する脳トレ、施設内で行った事例研究の発表等の講座を開きました。これから安心して出前講座が開催できるようになるといいですね。

出前講座メニュー以外の講座も可能な限り対応させていただきます。どうぞお問合せ下さい。

ホームページからも詳細をご覧ください。

お問合せ先 法人本部 青木

TEL 0538-38-2145 FAX 0538-38-1559



お譲りください

各施設の『趣味活動』で編み物をしていますが、材料の毛糸が不足しています。お家で眠っている毛糸(できましたら「太口」または「極太」を希望します。)がありましたら是非お譲りください。各施設にお持ちいただけたらと思います。よろしく願いいたします。

また、タオルもご協力いただけますと助かります。



編集後記

秋風が心地よい季節になりました。空にトンボが飛び交う姿が目に見えてきます。皆様いかがお過ごしですか?

磐田市の桶ヶ谷沼は多くの動植物が生息しており、トンボは71種類が確認されているそうです。身近に素晴らしい自然の宝庫があることに改めて気づかされます。過ごしやすいつ時期となりましたので、自然や景観を楽しみながら身近な公園でハイキングをしようかと思います。(青木)



社会福祉法人 遠江厚生園

URL <http://www.tohtoumi-kouseien.or.jp>



特別養護老人ホーム

遠州の園

住所 〒438-0002 磐田市大久保 522-1

TEL ☎0538-38-2145

特別養護老人ホーム

第二遠州の園

住所 〒438-0055 磐田市鮫島 1804-1

TEL ☎0538-34-1165

磐田市老人ホーム

楽寿荘

住所 〒438-0017 磐田市安久路 1-19-2

TEL ☎0538-32-2913